

**平成 26 年度久留米広域市町村圏事務組合
各会計当初予算の要領**

1 一般会計

当会計は、組合議会及び総務事務の安定した運営を図るための会計である。

平成 26 年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比 1.3%減の 31,506 千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、構成市町からの経常費負担金及び前年度からの繰越金である。

| 款 | 項 | 金額 (千円) |
|------------|----------|---------|
| 1 分担金及び負担金 | | 28,400 |
| | 1 負担金 | 28,400 |
| 2 繰越金 | | 3,100 |
| | 1 繰越金 | 3,100 |
| 3 諸収入 | | 6 |
| | 1 組合預金利子 | 1 |
| | 2 雑入 | 5 |
| 歳 入 合 計 | | 31,506 |

(2) 歳出

歳出の主なものは、議員報酬、役員給料、議案書等の印刷製本費、附属機関の委員報酬及び事務局派遣職員に係る人件費負担金などの経常的経費である。

| 款 | 項 | 金額 (千円) |
|---------|----------|---------|
| 1 議会費 | | 2,053 |
| | 1 議会費 | 2,053 |
| 2 総務費 | | 27,400 |
| | 1 総務管理費 | 27,119 |
| | 2 文書広報費 | 105 |
| | 3 公平委員会費 | 25 |
| | 4 監査委員費 | 151 |
| 3 予備費 | | 2,053 |
| | 1 予備費 | 2,053 |
| 歳 出 合 計 | | 31,506 |

2 ふるさと振興事業特別会計

当会計は、組合の基本理念である「明日の豊かさと安らぎを育む筑後川交流圏の創造」を推進するため、観光PR事業をはじめとする「ふるさと振興事業」を展開するための会計である。

平成26年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比18.3%減の20,354千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、ふるさと振興基金の運用収入、前年度繰越金及び結婚サポート事業のイベント参加料である。

| 款 | 項 | 金額(千円) |
|--------|------------|--------|
| 1 財産収入 | | 17,028 |
| | 1 財産運用収入 | 17,027 |
| | 2 財産売却収入 | 1 |
| 2 繰越金 | | 3,000 |
| | 1 繰越金 | 3,000 |
| 3 諸収入 | | 326 |
| | 1 ふるさと預金利子 | 1 |
| | 2 雑入 | 325 |
| 歳入合計 | | 20,354 |

(2) 歳出

歳出の主なものは、圏域内のイベント情報を提供するラジオ放送「ちくご路かわら版」事業に係る広告料、インターネット情報提供事業や観光PR事業、結婚サポート事業の実施に係る業務委託料及び広域行政課題調査研究支援事業での費用弁償である。

| 款 | 項 | 金額(千円) |
|-------|-------|--------|
| 1 事業費 | | 19,983 |
| | 1 事業費 | 19,983 |
| 2 予備費 | | 371 |
| | 1 予備費 | 371 |
| 歳出合計 | | 20,354 |

3 小児救急医療支援事業特別会計

当会計は、次代を担う子ども達を、当圏域内で安心して生み育てることができる環境づくりの一環として、夜間の小児救急医療受診者の待ち時間短縮を目的に、聖マリア病院内に設置した「久留米広域小児救急センター」を運営するための会計である。

平成 26 年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比 0.6%減の 33,108 千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、構成市町負担金、近隣市町協力金、福岡県からの補助金、ふるさと振興事業特別会計からの繰入金及び前年度からの繰越金である。

| 款 | 項 | 金額 (千円) |
|------------|----------|---------|
| 1 分担金及び負担金 | | 15,047 |
| | 1 負担金 | 15,047 |
| 2 県支出金 | | 6,402 |
| | 1 県補助金 | 6,402 |
| 3 繰入金 | | 9,757 |
| | 1 繰入金 | 9,757 |
| 4 繰越金 | | 1,900 |
| | 1 繰越金 | 1,900 |
| 5 諸収入 | | 2 |
| | 1 組合預金利子 | 1 |
| | 2 雑入 | 1 |
| 歳入合計 | | 33,108 |

(2) 歳出

歳出の主なものは、久留米広域小児救急センターの運営経費に対する久留米医師会及び聖マリア病院への補助金である。

| 款 | 項 | 金額 (千円) |
|-----------|-----------|---------|
| 1 小児救急運営費 | | 31,608 |
| | 1 小児救急運営費 | 31,608 |
| 2 予備費 | | 1,500 |
| | 1 予備費 | 1,500 |
| 歳出合計 | | 33,108 |

4 広域消防特別会計

当会計は、「管内住民のやすらぎを育む安全で安心な地域社会の確立」を基本理念に、広域消防行政を運営するための経費を計上するものである。

平成 26 年度の歳入歳出予算総額は、対前年度比 1.7%減の 5,293,000 千円としている。

(1) 歳入

歳入の主なものは、構成市町からの負担金、久留米広域消防財政調整基金からの繰入金、前年度からの繰越金及び組合債である。

| 款 | 項 | 金額(千円) |
|------------|----------|-----------|
| 1 分担金及び負担金 | | 4,358,757 |
| | 1 負担金 | 4,358,757 |
| 2 使用料及び手数料 | | 3,120 |
| | 1 使用料 | 570 |
| | 2 手数料 | 2,550 |
| 3 国庫支出金 | | 1 |
| | 1 国庫補助金 | 1 |
| 4 県支出金 | | 1 |
| | 1 県補助金 | 1 |
| 5 財産収入 | | 1,335 |
| | 1 財産売払収入 | 1 |
| | 2 財産運用収入 | 1,334 |
| 6 繰入金 | | 166,578 |
| | 1 基金繰入金 | 166,578 |
| 7 繰越金 | | 100,000 |
| | 1 繰越金 | 100,000 |
| 8 諸収入 | | 6,108 |
| | 1 組合預金利子 | 1 |
| | 2 雑入 | 6,107 |
| 9 組合債 | | 657,100 |
| | 1 組合債 | 657,100 |
| 歳入合計 | | 5,293,000 |

(2) 歳出

歳出の主なものは、消防職員 372 名分の人件費、消防車両整備事業費及び共同指令センター整備事業費である。

主な減額要因は、平成 25 年度から筑後地域 8 消防本部で取り組んでいる共同指令センターの庁舎建設において、建設費全体の 4 割を負担（2 ヶ年継続費で平成 25 年度は 6 割負担）することによるものと、人件費における職員の平均年齢の低下や時間外勤務手当の縮減によるものである。

新たな事業としては、救急業務における救急救命士の処置範囲の拡大に伴い、隊員の処置技術の向上を図る目的から、処置拡大に係る講習等の経費と指導救命士の養成に係る経費を計上している。

また、被用者年金一元化の制度改正に伴う人事給与システムの改修と出退勤管理システムの導入整備費、計画的な救急救命士の養成経費、消防車両及び消防資機材の整備費、共同指令センター整備に係る指令システムと消防救急デジタル無線設備の整備費などを計上している。

特に、消防車両の整備においては、老朽化した 40m 梯子車の更新に係る経費として 193,428 千円を計上している。

なお、人件費については、消防職員 372 名分の給料及び手当として対前年度比 1.9%減の 2,859,564 千円を計上している。

| 款 | 項 | 金額 (千円) |
|---------|-------|-----------|
| 1 消防費 | | 5,245,405 |
| | 1 消防費 | 5,245,405 |
| 2 公債費 | | 35,672 |
| | 1 公債費 | 35,672 |
| 3 予備費 | | 11,923 |
| | 1 予備費 | 11,923 |
| 歳 出 合 計 | | 5,293,000 |